

高田川新聞

特別号

2020年6月30日
発行所
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲 七月場所
令和2年7月19日より
15日間
於 両国国技館

追悼、小さな巨人 勝武士

令和2年の夏場所は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の延長を受け、戦後三度目となる中止となった。また、七月の名古屋場所については、大人数の名古屋への移動や長期滞在を避けるために「特別開催」として会場を国技館に変更し、七月十九日から無観客での開催を目指す。そんな折、四月四日に発熱し、同八日から入院していた勝武士が五月十三日未明に新型コロナウイルス肺炎による多臓器不全で他界した。二十八歳という若さ。まじめで、いつも明るく部屋を盛り上げてくれていた勝武士のためにも、前を向き、これからも共に戦っていくことを全員で強く誓い合った。

この度は大変ご心配をおかけいたしました。医療従事者のお力添えを得まして、健康状態もようやく回復いたしました。



竜電と場所入りする勝武士



勝武士は小学校一年から通っていた柔道スポーツ少年団から、二十二年間ずっと一緒に誰よりも自分のことをよく知る弟のような存在でした。入院後、心配で送ったメールに「大丈夫ですーまた連絡します」ときた返信が最後となりました。いまもそばに在るのがあります。

ただ残念ながら、大切な家族であり弟子である勝武士が新型コロナウイルスによる多臓器不全で亡くなりました。医療機関が切迫した時期と重なっていました。相撲協会の対応もあって重篤化する前に入院できたので、元気で帰ってきてくれるものと信じておりました。しかし容態が急変し、一か月以上の闘病の末、帰らぬ人となりました。私の体調回復を待っていたかのような最期でした。

勝武士は小学校一年から通っていた柔道スポーツ少年団から、二十二年間ずっと一緒に誰よりも自分のことをよく知る弟のような存在でした。入院後、心配で送ったメールに「大丈夫ですーまた連絡します」ときた返信が最後となりました。いまもそばに在るのがあります。

興す前、彼が中学校一年生の時に初めて会い、一番最初に声をかけたのが勝武士でした。「俺が親方の本当の一番弟子だ」といつもうれしそうに話していた顔が忘れられません。誰からも愛される大事な家族を失った悲しみは言葉にできません。しかし前を向き、これからは勝武士と一緒に部屋一丸となって頑張っていくと最期のお別れでみんなまで誓い合いました。現在、力士たちは七月場所に向けて意欲的に稽古に励んでおります。

勝武士は小学校一年から通っていた柔道スポーツ少年団から、二十二年間ずっと一緒に誰よりも自分のことをよく知る弟のような存在でした。入院後、心配で送ったメールに「大丈夫ですーまた連絡します」ときた返信が最後となりました。いまもそばに在るのがあります。

勝武士は相撲のみならず、切っ切りでも活躍したムードメーカーでした。私が部屋を

勝武士は小学校一年から通っていた柔道スポーツ少年団から、二十二年間ずっと一緒に誰よりも自分のことをよく知る弟のような存在でした。入院後、心配で送ったメールに「大丈夫ですーまた連絡します」ときた返信が最後となりました。いまもそばに在るのがあります。



土俵の勝武士。部屋の稽古場にはこの写真が飾られている。



地元・甲府場所で初切を披露する勝武士(右)

小さい体ながら、かなりのスピードで三段目へ上がり、あと一番勝つたら幕下というところまで来て悔しい思いを



武守伊之助

した。そんな時、初切と巡り合った。広い目線で相撲と向き合うには格好の出会いだ。日々番付を上げるための葛藤の中で、たくさんの相撲ファンを楽ませたエンターテイメント。人気を博したのには言うまでもないが、ある意味、勝武士は土俵の主役となった。

コロナ禍の中、発熱し、すぐ帰って来ると思って救急車を見送ったのが最後となりました。巡業では長く私の明荷を早朝と終了後に担いでくれていた。後輩力士だった私の長男も一番お世話になった兄弟が勝武士だと言った。感謝の言葉しかない。

武守 伊之助



高田川ブログでもおちゃめな写真登壇率ナンバーワンの勝武士。力士それぞれが撮った写真を持ち寄り、たくさんのショットの中から選んだ勝武士らしい笑顔のこの一枚が遺影となりました。

白鷹山 亨将

日本では現時点で、新型コロナウイルス感染症で亡くなった唯一の二十代で最年少のこと。心からご冥福をお祈り申し上げると共に、勝武士の七七日に合わせ特別号として高田川新聞を発行いたします。

幕下	湘南乃海	一番お世話になった人です。苦しい時、傍にいてくれ、「お前が関取になるまで俺はやめない」と言ってくれました。その思いに添えられるよう全力で約束を守ります。
大野城	大野城	日頃から明るい性格で頼りになる兄貴分。初めての初切も励まし、助けてもらいました。部屋の太陽の様な存在の勝武士さんを一生忘れません。
安芸乃山	安芸乃山	ちゃんご番が十年程一緒に、部屋でも遊びでも一緒にいる事が多かった。人一倍努力する姿を見てきたので、それに負けないようにしっかりと取り組んでいきたいです。
三級目	大衆	同期生として入門し、新弟子の頃から稽古が辛い時もくたらない話で笑い合っていてくれました。勝武士の分まで頑張ります。
剛力山	剛力山	どんな事も真面目に取り組み、豪快に食べる姿だったり、いつも勝武士の周りは笑顔がたえないなかつた。みんなが勝武士の分まで頑張っていくので見守っていてください。
大辻	大辻	部屋の笑いの立役者の存在で毎日のように笑わせてもらいました。稽古相手もしてもらいました。これからも天国で見守ってください。
前乃富士	前乃富士	オイスカの収穫祭では研修生と一緒にダンスを踊ったり、いつも会場を盛り上げていました。あの笑顔がもう見れないのは寂しいです。
恵比寿丸	恵比寿丸	同期生で一番お世話になりました。真面目で頑張り屋で憧れがありました。まだ受け入れたくない気持ちでいっぱいですが、高田川部屋を見守ってほしいです。
暁	暁	新弟子の頃から気が合っていて一緒に相撲練習所に通いました。未だにないなかつた実感がなく、巡業に出てまだ帰ってきていないだけの感じがしています。
大雷童	大雷童	同じ押し相撲なので声をかけることが多く、どうにか強くあげたかった。僕の博多帯をあげたら幕下で着けたいと言ってくれていたその姿を見られたかったです。
安房乃国	安房乃国	入門して最初に胸出してもらったのが勝武士さんでした。一年でたくさんの事を教えてもらった恩に報いることができるよう前を向いて頑張ります。
須磨ノ海	須磨ノ海	僕の丁番に鉄を入れるまで辞めれないと言ってくれた親友のような関係でした。明るくて楽しい人。勝武士さんの分も笑って生きて行きます。
天恵	天恵	初巡業で勝武士さんに教わりながら一緒に竜電関の付け人をしてました。ミスもしましたが、時に優しく、時に厳しく教えてくれました。
前大將	前大將	かけがえのない先輩であり、もしかしら関取になるのはと内心思っていました。病気の闘いにも勝つと信じていたので男泣きしました。
藍	藍	いつも優しくみんなを笑顔にさせてくれ誰からも愛される人でした。しっかりと稽古をして強くなることを勝武士さんへの恩返しになるので精進します。
櫻	櫻	周りの皆を笑顔にする力がありました。今も近くに感じます。勝武士の分も思いに込め、真っ直ぐ生きて行きたいです。勝武士ありがとう。出会えてよかったです。
松ヶ島	松ヶ島	いつも明るく元気な人で、九州の千秋楽パーティーではいつも楽しそうにダンスを踊ってお客さんを喜ばせていた姿が印象的でした。
真庭山	真庭山	短い間でしたが、ありがとうございました。
序ノ口	真庭山	体験入門の時に一緒に筋トレをし、デイス二ランドにも行きました。過ごした日は短いです、いい兄弟弟子でした。応えられるように稽古を頑張っていきたいです。
〃	〃	「はる(ホイ)と呼んでくれ、いつも面白くて優しく笑顔にしてくれました。カッコいい勝武士さんみたいな相撲をとりたいです。
〃	〃	入門したての頃、緊張を解いてくれたおかげで毎日楽しく過ごせました。ありがとうございます。
辰之助	辰之助	入門したての頃、緊張を解いてくれたおかげで毎日楽しく過ごせました。ありがとうございます。
〃	〃	入門したての頃、緊張を解いてくれたおかげで毎日楽しく過ごせました。ありがとうございます。
〃	〃	入門したての頃、緊張を解いてくれたおかげで毎日楽しく過ごせました。ありがとうございます。

今年も高田川部屋、竜電、輝の浴衣を製作いたしました。高田川部屋のデザインは昨年に引き続き、所属の三関取のシルエットを迷彩柄に仕立てたもの。竜電は、竹林から望む富士山と竜に見立てた「りゅうでん」の文字。輝は、七尾湾のイルカがモチーフです。新聞では色味がわかりませんが、それは実物を見てのお楽しみという事です。



< 輝に新しい化粧まわし >

神奈川県座間市の歯科医院から輝に新しい化粧まわしが贈られた。輝の郷里・石川県七尾市は、野生のイルカが見られることで有名で、同医院のロゴマークがイルカであったことからこのデザインに決まった。相撲も歯もしっかり磨いて輝いてほしいとの願いが込められている。

